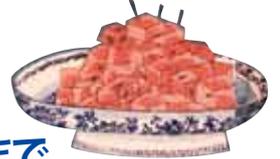


## 青が結ぶやきもの世界



江戸時代、日本のやきもの文化は大輪の花を咲かせました。「青のある暮らし—着物・器・雑貨」展開催にちなみ、今回の講座では、中世から江戸時代にかけての日本陶磁の歴史を学び、次いで青色の文様をあらわした染付が日本と世界において展開させた、豊かな美の世界について学びます。



### 第1講 7月13日(土) 日本陶磁史「超!入門」中世の甕から江戸時代の食器まで

鎌倉時代には生活道具の壺、甕、鉢だった「日本のやきもの」が、江戸時代には生活を彩る食器の主役へ。日本陶磁の中世から近世への転換、そして江戸時代における展開を中心に、日本陶磁の歴史をたどり、その魅力を発見する超!入門講座。

講師 <sup>もり ゆみ</sup> 森 由美 (陶磁研究家)

東京藝術大学大学院美術研究科(保存科学)修了。戸栗美術館学芸員、日本陶磁協会研究員、その後、独立して陶磁器や伝統文化に関する執筆、講演、企画制作等を行う。戸栗美術館学芸顧問、NHK文化センター講師。著書『ジャパノロジー・コレクション 古伊万里』(角川ソフィア文庫)ほか。「開運!なんでも鑑定団」出演。

### 第2講 7月20日(土) 連携企画展「青のある暮らし—江戸を染める伊万里焼—」によせて

連携企画展「青のある暮らし—江戸を染める伊万里焼—」より、江戸時代に誕生した初の国産磁器である伊万里焼の染付の変遷について、陶片を使ってご紹介いたします。流行をキャッチし、人々の生活を染めあげた伊万里焼の「青」を解き明かします。

講師 <sup>こにし あさみ</sup> 小西 麻美 (戸栗美術館アシスタントマネージャー・学芸員)

実践女子大学大学院博士前期課程修了後、戸栗美術館学芸員として勤務。美術史学の知見を活かし、学芸員講座や三越日本橋本店にて講演会を行う。連携企画展「青のある暮らし—江戸を染める伊万里焼—」担当学芸員。

### 第3講 7月27日(土) 旅する染付—青に結ばれる西アジア・中国・日本・欧州

中国で誕生し、江戸時代の日本に花開いた染付。そのルーツは中国・元朝と交易を結んだイスラーム世界、そして古代オリエントにまでさかのぼります。染付はまた、欧州の王侯貴族に愛され、遥かなる旅をしてゆきました。染付の〈青〉を軸に世界を眺め、各国の多様な美と価値観をさぐります。

講師 <sup>かしわぎ まり</sup> 柏木 麻里 (出光美術館学芸員)

慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得。出光美術館学芸員として「板谷波山の夢みたもの」「色絵 Japan CUTE!」「染付-世界に花咲く青のうつわ」ほか展覧会多数。詩人としても国際的に活動し、各国の詩祭に招聘されている。現代詩手帖賞受賞。著書『かわいいやきもの』(東京美術)『蜜の根のひびくかざりに』(思潮社)など。

#### 申込方法

下記申込書に必要事項をご記入の上、受講料を添えて、太田記念美術館までご持参ください。

6月8日(土)より受付開始、定員になり次第締め切ります。

※郵送では申込みできませんので、ご注意ください。

日程 2019年7月13日(土)、20日(土)、27日(土)

時間 14:00~15:30

会場 太田記念美術館 視聴覚室(B1)

定員 60名(先着順)

受講料 5000円(パスポート会員は3000円)  
※全3回、一括前納。税込。展覧会入場料を含む。



太田記念美術館 江戸文化講座 申込書 2019年 月 日  
「青が結ぶやきもの世界」

氏名 (会員のみ記入) パスポート番号

住所

電話 職業 男・女

※美術館使用欄

受付日 月 日 受付番号

開館時間…10:30 ~ 17:30(入館は17:00まで)

休館日… 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)  
展示替え期間

アクセス… JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分  
地下鉄千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

問合せ 03-3403-0880

〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前1-10-10

